

船舶事故調査報告書

平成29年5月25日
 運輸安全委員会（海事専門部会）議決
 委員 庄 司 邦 昭（部会長）
 委員 小須田 敏
 委員 根 本 美 奈

事故種類	転覆
発生日時	平成28年11月13日 08時50分ごろ
発生場所	熊本県天草市横島南方沖 大多尾港3号防波堤灯台から真方位105° 1,600m付近 （概位 北緯32° 21.2′ 東経130° 13.9′）
事故の概要	プレジャーボートSAKAIは、東方に向けて左転中、転覆した。 SAKAIは、船外機に濡損を生じた。
事故調査の経過	平成29年1月6日、本事故の調査を担当する主管調査官（長崎事務所）ほか1人の地方事故調査官を指名した。 原因関係者から意見聴取を行った。
事実情報 船種船名、総トン数 船舶番号、船舶所有者等 L×B×D、船質 機関、出力、進水等	プレジャーボート SAKAI、5トン未満 293-39302熊本、個人所有 2.67m (Lr) × 1.12m × 0.40m、FRP ガソリン機関、4.40kW、平成23年4月
乗組員等に関する情報	船長 男性 53歳 二級小型船舶操縦士 免許登録日 平成23年5月20日 免許証交付日 平成28年5月12日 （平成33年5月19日まで有効）
死傷者等	なし
損傷	船外機の濡損
気象・海象	気象：天気 曇り、風 なし、視界 良好 海象：海上 平穏
事故の経過	本船は、船長が1人で乗り組み、釣りの目的で、横島東方沖に設置された魚養殖施設に向けて天草市栖本町の海岸を出発した。 船長は、横島東方沖の魚養殖施設付近で釣りを行ったが、釣果を得られなかったため、横島南方沖の魚養殖施設付近へ移動することにした。 本船は、船長が船尾中央部付近に腰を掛けて船外機を操作し、横島東方沖から横島南方沖にかけて設置された魚養殖施設群に沿ってその西側を約1.5ノットの対地速力で南南西進した。 船長は、横島南方沖を航行していたところ、魚養殖施設間に幅約30mの水路を認めたので、この水路を東西方向に通航できるものと思い、

	<p>魚養殖施設の東側付近で釣りをを行うことにした。</p> <p>本船は、南側の魚養殖施設から約5 m離れた場所を東方に向けて左転していたところ、平成28年11月13日08時50分ごろ突然船外機が海面下で何かに引っ掛かり、船体が左舷船尾側に傾斜して船首側に置いてあったクーラーボックス等の荷物が左舷側に移動するとともに海水が左舷船尾部から船内に流入し、左舷側から転覆した。</p> <p>船長は、落水したが、着用していた自動膨張式救命胴衣が作動して海面上に浮き、転覆した本船につかまっていたところ、付近で釣りをしていたプレジャーボートに救助された。</p> <p>本船は、通りかかったクレーン付き漁船によって引き起こされた後、救助したプレジャーボートからの通報で来援した巡視艇にえい航されて出発場所まで戻り、その後陸揚げされた。</p> <p>(付図1 事故発生経過概略図、写真1 本船の状況、写真2 船外機の状況 参照)</p>
<p>その他の事項</p>	<p>本船の喫水は、船首約0.15 m、船尾約0.5 mであった。</p> <p>船長は、約5 kgのクーラーボックス、約1 kgの釣り餌用ボックス、約5 kgの撒き餌用のボックス、約10 lの燃料が入った燃料タンク等の荷物を本船の船首側に置いていた。</p> <p>船長は、本事故後、本船の船外機が海面下で魚養殖施設間を連結するロープに引っ掛かったことに気付いた。</p> <p>船長は、横島東方沖の魚養殖施設付近で幾度か釣りをしたことがあったが、本事故発生場所付近を航行するのが初めてであった。</p> <p>魚養殖施設群には、所々に東西方向に通航できる幅約50 mの水路が設けられていた。</p>
<p>分析</p> <p>乗組員等の関与</p> <p>船体・機関等の関与</p> <p>気象・海象等の関与</p> <p>判明した事項の解析</p>	<p>あり</p> <p>なし</p> <p>なし</p> <p>本船は、横島南方沖で東方に向けて左転中、船外機が海面下で魚養殖施設間を連結するロープに引っ掛かって船体が左舷船尾側に傾斜し、船内の荷物が左舷側に移動して傾斜が増すとともに海水が左舷船尾部から船内に流入したことから、転覆したものと考えられる。</p> <p>本船は、船長が魚養殖施設に接近して航行したことから、船外機が海面下で魚養殖施設間を連結するロープに引っ掛かったものと考えられる。</p>
<p>原因</p>	<p>本事故は、本船が、横島南方沖で東方に向けて左転中、船外機が海面下で魚養殖施設間を連結するロープに引っ掛かって船体が左舷船尾側に傾斜し、船内の荷物が左舷側に移動して傾斜が増すとともに海水が左舷船尾部から船内に流入したため、転覆したものと考えられる。</p>

参考	<p>今後の同種事故等の再発防止に役立つ事項として、次のことが考えられる。</p> <ul style="list-style-type: none">・ 魚等の養殖施設に接近して航行しないこと。・ 船内の荷物は、船体が傾斜した際にも移動しないような措置を講じておくこと。
-----------	---

付図1 事故発生経過概略図

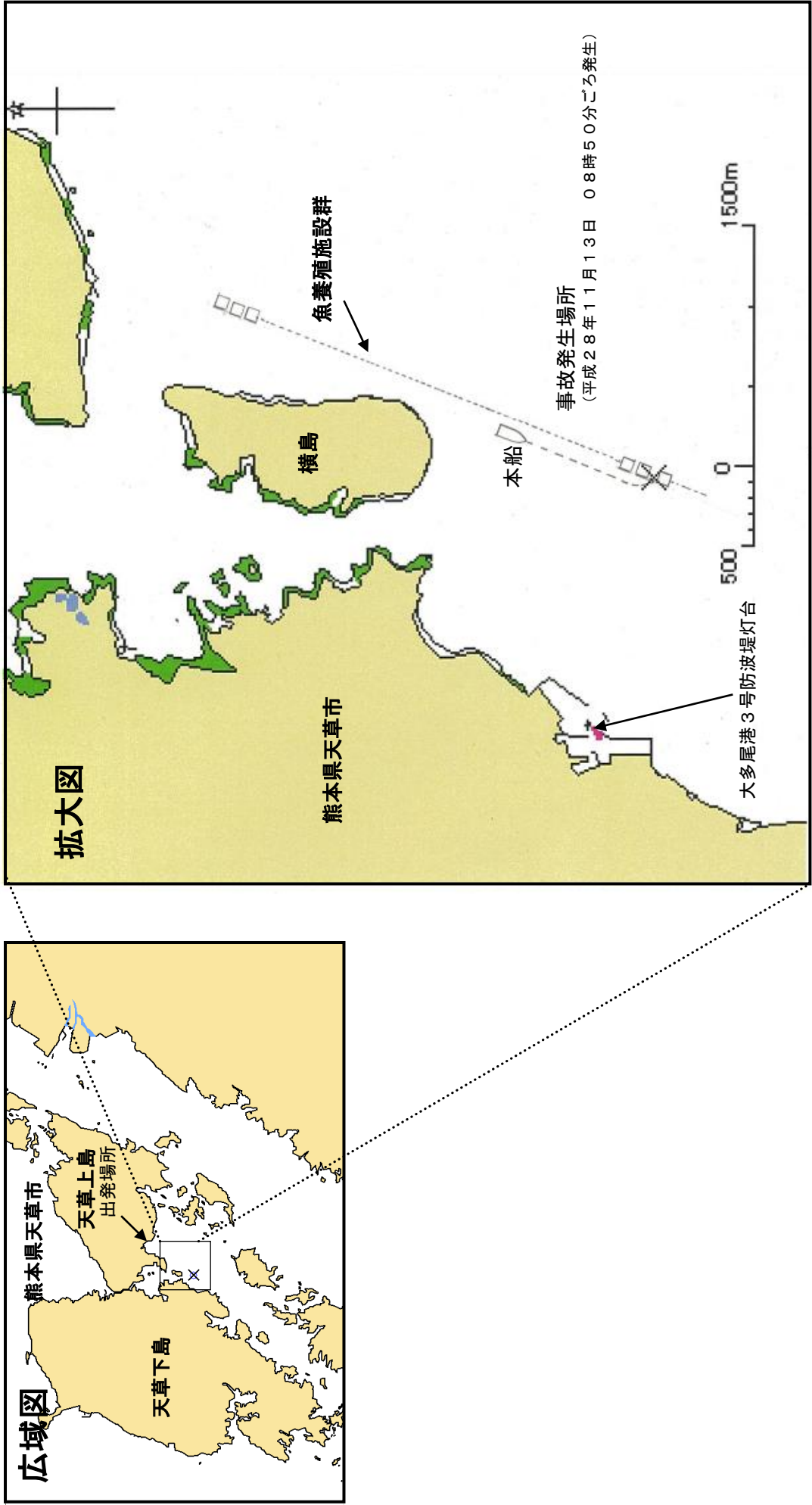


写真1 本船の状況



船外機の取付け場所

写真2 船外機の状況

